

「あまりに拙速だ」

県庁前 反対住民ら抗議

関西電力の40年超原発3基の再稼働に杉本達治知事が同意を表明した28日、反対住民らは「あまりに拙速だ」「県民の不安に答えていない」などと批判した。

福井市の県庁前には「オール福井反原発連絡会」のメンバーら約30人が集まり、「老朽原発、動かすな」と書かれた横断幕を掲げて抗議活動を行った。

28日まで8日間、断食を続けた小浜市の明通寺住職、中島哲演さん(79)は、県が3月に開いた再稼働に関する県民説明会で参加者

から安全面や避難計画に不安の声が相次いだ点に触れ、「知事も説明会に同席し、住民の血の出るような心の叫びを聞いたはずだ。理不尽な同意表明で、むなしく悲しい」と肩を落としたり。

若狭町の石地優さん(68)は「知事や県会がスケジューリング感はないと言いつつ続いていたが、急激に物事が決まった印象だ」と非難。「運転開始から40年を超え、さらに停止から約10年ぶりの原子炉起動で、普通の原発の再稼働以上に丁寧な議論が必要なのに」と憤っ

県庁前の交差点付近で杉本知事の再稼働同意に反対の声を上げる人たち＝28日、福井市大手2丁目



た。

また、グリーン・アクション(京都市)など関西の反原発6団体は「県民や周辺住民の反対や不安の声を踏みにじった同意表明を断じ

て許す」とはできない。事故が起きれば関西一円に甚大な被害が及ぶ」とする抗議声明を発表した。(宇野和宏)